



第十三号

10・18第2回執行委員会③

時短行路よ、何処へ行く

その他時間に関しては、最初に付けられた時短行路についても意見が出されました。

本来の目的である育児、介護のための行路から何処の職場においてもそこから逸脱した朝早い出勤や夜までの行路も増えております。その他時間も付けられており、乗務後に3時間という行路もあります。育児・介護等当該者にとっては、

全く用をなさないものとなっています。フレキシブル欠勤を使えば良いではなく、根本的に見直す必要があるのではないのでしょうか。

各職場の要員状況（車掌）

鴨川以外は、要員がひっ迫しており、何処の職場も緊急事態となっています。

特に蘇我では、つい最近も支社や指令に行った人が3人兼務発令されて見習い中です。



どーこだ？

「まさか、また乗務するとは思ってもいなかった」は、その内の一人の弁ですが、気の毒になってしまいます。蘇我では現在、指導員、主務、副長、外からも含めると、兼務（車掌）が15名近くいる異常事態です。それでも年休は入りません。

勤務に関しては、個人タブレット内のみとなり、年休の申し込みや取得状況、休勤や予備状況も含め、要員数も全く分からない状況にさせられています。

若者たちと語ろうよ！

12月下旬には、来年の行路交番提案があり、精査してほしいと分会長より話がありましたが、職場内で主体となるのは若い社員です。今回の会議で出たその他時間、時短行路、要員問題等々についても、どんどん若者たちと話し込み、声を集めていきましょう。

うたてつ ノススメ

悲しき鉄道員（日本語）（渡辺めぐみ）1987年

恋を見つけたあの頃は
ホームの陰で口づけた
さよならのベルが鳴って
お願いよ Railroad man
悲しい恋の Oneway Train
彼を乗せて行かないで
No, No, No!
ひとりぼっちの Railroad man
口笛で歌ってた
愛し合う二人のため Ah・・・

恋をなくした雨の日は
濡れたベンチに座ってた
通り過ぎた思い出さえ
教えてよ Railroadman
幸福行きの乗車券
二人何処でなくしたの
No, No, No!

前号で紹介したショッキングブルーによる原曲の日本語カバー。この頃「ピーナス」のリバイバル大ヒットにあやかってレコード会社やプロデューサーが推したのだと思う。が、これはシングルのB面で、A面はマッシュマッカーンというバンドの「霧の中の二人 (As The Years Go By)」のやはり日本語によるカバー。原曲は、鉄道員との結婚を相談され「絶対だめよ」とおせっかいなアドバイス？をする

が、ここでの鉄道員は第三者的に扱われ「私たちの恋を見守ってね」ってな感じ。原詩を完全に無視したものが、日本語カバーに求められるのは正確な直訳ではなく、いかにメロディーに上手く詞を乗せられるかなので・・・
掲載した詞は、最初から間奏までのもので、このあとも程よく鉄道ワードが散りばめられ

詞だけ読んだら、こちらの方がずっと鉄道ソングっぽい。「幸福行きの乗車券」はちとクサイ・・・かな。サウンドは、この時代特有の打ち込みによるもので、良くも悪くもこの時代である。荻野目洋子の「ダンシングヒーロー」みたいな感じ。
前号の補足＊原曲の日本盤シングル（'70）は何故かテンポが大分早い。

今後の日程

- 11月1日（水）
蘇我・島田さん復帰祝い
- 11月4日（土）
千葉・東平さん送別会
- 11月29日（木）
運協定期委員会
- 12月下旬
来年度ダイ改提案